

第51回 静岡県小学生バレーボール西部選手権大会要項

- 主 催 静岡県西部バレーボール協会
- 主 管 静岡県西部小学生バレーボール連盟
- 後 援 開催地区教育委員会／スポーツ協会／中日新聞東海本社
- 開 催 日 時 令和 8 年 9 月 6 日 (日)
受付 8:00 開会式 8:30 試合開始 9:00 (会場判断で早めても良い)
- 開 催 会 場 西部各地区体育館
※大会当日コートが2面取れる体育館が確保できましたら申込書へ記入願います。
(会場提供:送風機、控室にエアコン等の有・無を参加申込へ記入ください)
- 競 技 種 別 6人制 男子の部・6年女子の部・5年女子の部・4年生の部・混合の部
- 競 技 方 法 会場別リーグ・トーナメント方式
男子の部は全日本を参考にシード有、東海大会出場権を決定するため1日で決勝まで実施
6年女子1ブロックは全日本大会、上位チームで構成
- 競 技 規 則 令和8年度 日本バレーボール協会6人制・小学生バレーボール競技規則に則る
- 使 用 球 人工皮革軽量4号球カラーボール
「ミカサボール(V400W-L)」・「モルテンボール(V4M5000-L)」
男子・混合・5女の部 : ミカサ 6女・4年生の部 : モルテン
- 表 彰 各会場の上位を表彰します。
- 参 加 料 1チーム3,000円(抽選会時に集金します。)
- 申 し 込 み 別紙申込書を下記宛①・②に送付してください (①を宛先、②をCCにて)
(西部競技委員長) 増 田 清 司
① Email: kmcy1238@outlook.jp 携帯: 090-8863-7862
(西部競技副委員長 渡 邊 寛 明
② Email: wattar_no_address@yahoo.co.jp
- 審 判 令和8年度審判伝達講習会を受講した者に限る。
- 締 め 切 り 令和 8 年 8 月 6 日 (木) 厳守
- 抽 選 会 令和 8 年 8 月 20 日 (木) 19:30 ~ さんりーな会議室
・大会参加は監督、保護者、団等で協議し同意にて提出願います(不参加の場合もメール返信願います)
- 実行委員会 令和 8 年 9 月 3 日 (木) 19:30 ~ さんりーな会議室
- 連 絡 事 項 ・ベンチスタッフ(大人)は、統一された服装(上着・スラックスは同じデザイン・同じ色)でベンチ入りする事。服装の違う者はベンチ入りできない。ただし、子供の場合は除く。
・1チーム審判の場合、主審は認定審判委員とし、副審は認定審判委員が望ましい。
・熱中症対策は各団においても十分な準備と対策をお願いいたします。(添付資料一1)
・各地区体育館中央へ計測機を設置し、暑さ指数(WBGT)の監視により中止する場合があります。
・「チームプレート」「圧力ゲージ・ポンプ」「女子更衣室表示」は各団で持参してください。
・4年の部は、3チーム以上で開催とし、男子・女子・混合のカテゴリー制限はありません。
開催されない場合、申込書に記載された選手は他のカテゴリーへの追加を可とします。

1) 大会参加申込書(参加する場合)

- ・参加の場合は監督、子供、保護者の同意を得る。

2) 会場選定

- ・できる限り風通しの良い体育館使用する(会場提供から選定)
- ・会場は送風機等の準備、控室(エアコン等の有無)を考慮する。

3) 会場役員の役割

- ・各会場のWBGT指数の監視
- ・会場役員は監督又はコーチと共に選手の体調管理に努める。
- ・体調不良を確認した場合は速やかに処置を実施する事

症状 めまい、顔のほてり、震え、寒気、筋肉の痙攣
体のだるさ、吐き気、汗のかき方が異常

4) 暑さ指数基準

各体育館の暑さ指数により、役員、監督と協議し判断する

大会開催時の会場協議・判断

WBGT値:31

気温例

気温 32℃の時

- ①湿度 30% → 暑さ指数 25℃ (警戒)
- ②湿度 55% → 暑さ指数 28℃ (嚴重警戒)

気温 34℃の時

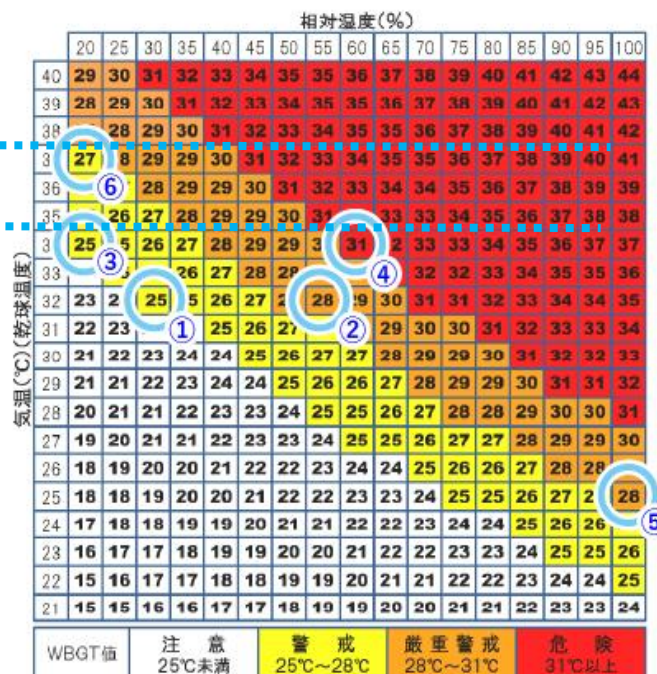
- ③湿度 20% → 暑さ指数 25℃ (警戒)
- ④湿度 60% → 暑さ指数 31℃ (危険)

気温 25℃の時

- ⑤湿度 100% → 暑さ指数 28℃ (嚴重警戒)

気温 37℃の時

- ⑥湿度 20% → 暑さ指数 27℃ (警戒)



画像: <https://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/06/d/h0616-1b.pdf>

湿球黒球温度



気温: 大気中の温度

湿度: 大気中が含む水分の割合

輻射熱: 日差しや、建物・地面などにこもり、放出される時の熱

- ・湿度が高いと、汗が蒸発しにくく身体から熱を放出する能力が減少し、熱中症になりやすくなる

5) 水分補給

①麦茶・スポーツドリンク・アイススラリー等 (深部体温を下げる効果あり)

★運動する2時間前～30分前までに、250～500mlの水分を何回かに分けて飲

★運動中は15～20分おきに、ひと口～250ml程度の水分を補給

「のどが渴いた」は脱水症状

「のどが渴いたな～」と感じた時点で2%失われた状態

6) 西部小連地区大会としての対応

・試合中の給水回数やタイミングは各会場の判断とする(代表者会議で決定する)

・各地区体育館は換気重視とする(窓の解放、カーテンは閉めない)

・ベンチクーラーボックス(氷や冷えたタオル・アイススラリー)持ち込みOK

会場担当団は、大会当日の急患対応病院を確認しておくこと。

病院名:

連絡先:

会場は換気を優先し窓や扉を開閉すること。体育館内に冷風扇があれば ゲームの支障のない場所に設置すること。

(会場担当と協議し参加チームの持ち寄りでもよい)

選手・審判も含め給水や塩分補給の対応すること。

試合間をプロトコールを含めて20分間にする等、会場毎、その日の状況により対応すること。

試合を開始する前に、主審・副審は両チームの監督に体調不良者がいないか、また、両チームともに試合対応可能か確認したうえで試合に入ること。

指導者・保護者は子供達の体調観察に努め対応すること

WBGT指数が31に近づいた場合は、このまま試合が可能であるか、会場役員並びに各監督にて協議し対応すること。

一旦、会場内の窓や扉を全開し休憩時間を設けるなど、状況に応じた対応も検討すること。

なお、試合続行が難しい場合、その会場の順位は以下の通りとする。

ケース1 試合が開始されていない場合は監督によるコイントス/回で決定

ケース2 試合が開始されて相手チームより得点が多い場合

2セット目が開始されている場合

3セット目が開始されている場合

総得点で決定